

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立倉敷古城池高等学校] 担当教諭名 [福森 悠] (ESS 部 12名 美術部 1名)
 相手国・地域 [アメリカ]
 海外学校名 [Marlboro High School] 担当教諭名 [Barbara Casella]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
		特別活動	部活動

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	生物多様性の損失を止めるために私たちにできること
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	暗から明へ 暗く重たい地球に明るい未来を！ ～私たちにできる一步一步～



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
テーマを深く探究できた。また、年間を通して、各活動の先に受け取ってくれる明確な相手がいるということが、生徒にとってとても大きなモチベーションとなった。フォーラム上で動画や写真で交流相手の顔や声分かり、その相手から各生徒へ直接メッセージ(文書形式)をいただくことができ、有意義な活動であった。	Skype でのやりとりを行いたかったが、時差に阻まれた。それに加え、相手校は授業の一環としての活動、本校は放課後の部活動であったため、さらなる時間的制約がかかった。 フォーラムへの動画に関しては、容量面での制約があり、投稿できる動画に編集するまでに想像を絶する時間がかかり、頻繁に動画投稿できなかった。 年間を通して、教員の負担が非常に大きい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
アートマイルを通して自分達がまだまだ世界の問題を深く知らないということに気付き、世界の問題を解決するために自分達が参画することの必要性と、学び考える必要性があることを感じたようだ。	環境問題を取り上げる際、自国や地球規模での問題には焦点をあてていたが、他国視点で捉えることはなかったため、今回アメリカ合衆国の環境問題をじっくりと知る機会が得られ有意義であった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	・自己紹介 学校紹介内容作成	英語を書くことに不慣れであったが、相手に自分自身のことや学校のことを伝えたいと積極的に取り組んでいた。	部活動6
共有 テーマ学習	7月 ～ 9月	・自己紹介動画作成 ・相手校調べ ・テーマ学習 講演会に参加(海ゴミについて)、DVD視聴(不都合な真実)	相手校の生徒はネイティブスピーカーであり、自分たちの拙い英語での交流にはしり込みする様子も見られたが、相手にどう伝えたらよいか熱心に考える姿が見られた。	部活動10
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	9月 10月	・学校紹介動画作成 ・フォーラム上で交流 テーマ学習成果動画 日常風景動画 レポート送付	様々な環境問題について生徒同士で分担して調べ、学習成果を一人ずつ発表した。世界の問題に自分達は無知であることに気付き、そして自分達の立場で何ができるかを考えられるようになった。	部活動10
創造 壁画制作	11月 12月	・フォーラム上で交流 下絵デザイン ・壁画制作	お互いに壁画に込めたい思いがあり、意見を交換しながらデザインを考えた。自己表現だけでなく、他人の意見を聞くということも学べていた。	部活動12
評価 振り返り 自己評価	3月	・壁画鑑賞 ・ふりかえり	壁画を見て達成感を感じていたようだ。相手校の表現の仕方に感嘆していた。自分たちが伝えなかった思いが壁画で表現されており、互いの考えが融合できたことを実感していた。	部活動2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついった 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	地域に目を向け、文化面・環境面から、英語で相手に伝えようと積極的に活動出来た。講演会に参加し、海ゴミへの理解が深まった。
異文化を理解する力	5	DVD(不都合な真実)視聴、相手校が薦めてくださったHP閲覧などで、相手国目線で環境面を知ることができた。 生徒達が同年代の高校生の日常が知れ、視野が広がった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	他国のHPを閲覧したり、相手校生徒からのメッセージを読み解いたり、教科外の英語に触れることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	相手を意識した活動ができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	相手はネイティブであり、言語面でのハンデは大きく、批判的思考までには至らなかった。
主体的に考え行動する力	3	今年度初めての活動であり、教員主導であったことは否めない。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	美術部の生徒にテーマを伝え、下絵デザインに携わってもらった。相手校や自分達の思いをまとめて、他者に伝える活動が持てて良かった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	試行錯誤しながらも、良いものにしたいと寸暇を惜しんで活動できた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	学んだこと成果が作品となり、それが海を渡り完成され戻ってきたことに感動をした。大きな達成感を感じながら振り返りができた。